2022年度新規認定・再認定企業

「優れた技術」を語る

株式会社みのる製作所

耐熱合金などの難削材を高精度で加工し、職人をクリエイターに昇華。

代表取締役社長 **松口 健一**

以前は、前社長の父が一人で研削加工を行っていましたが、10年ほど前に私が入社し、マシニングや旋盤などの設備を導入して機械加工を始めました。一括受注により研削加工の需要も伸び、お客様にワンストップサービスで製品を提供しています。他社が出来ない加工が出来るようになれば、多くの仕事が受注できると考え、当時から難削材に特化することを目指しました。そのために技術を磨いたことが今回の選定につながったと思います。

難削材とはいわゆる耐熱合金と呼ばれるものです。鉄の中でも、硬さや粘りがあるものは加工こそ難しいですが、熱を加えた時に変質しないので使用用途が広がります。弊社にはこの難削材を高精度で加工する技術があり、例えば高熱に晒されるガスタービンのシール部品などを製作しています。他にも、他社に敬遠されるような困難な案件が数多く舞い込みます。短納期の依頼も決して早さだけにこだわることなく、いかにしてより良いものに仕上げるかに比重を置いています。全く作業経験のないような図面を毎日のように見ることになりますが、それが私たちのルーティーンです。一人ひとりがプロフェッショナルとして作業にあたり、お客様ともしっかり話し合い、妥協せず質の良いものを提供するために日々、技術や知見をアップデートしています。

これからもオンリーワンを目指し、チャレンジを続けます。金属加工業界では、パソコン等での加工プログラム作成や、図面からのデータ抽出が増えました。「職人技」から「プログラマー」へのイメージチェンジを進め、職人と呼ばれていた従業員を、自らの発想と技術力でものを生み出すクリエイターに昇華させたいと考えます。さらに、若い世代が働きやすい職場環境をつくり、神戸の製造業全体を盛り上げていきます。

タカヤマ株式会社（2022年度再認定企業）

高品質なゴム製品をキーパーツとして商社機能を備え、電力やインフラ分野で成長。

1999年に神戸市西区にて創業した当社は、2008年に神戸複合産業団地に進出。2011年にはゴムと金属・樹脂などの異素材を強固に接合する加硫接合技術で「神戸発・優れた技術」の認定を受け、今回は同技術で再認定を受けました。

当社の加硫接合は長年培ってきた技術で、過酷な環境下でも耐えうる強固さが好評です。例えば、駅のホームと電車の隙間を埋める「ホーム転落防止櫛状ゴム」などの製造に活かされ、日本各地のインフラ事業に幅広く貢献しています。さらに釣具分野では、釣竿のラバー調塗装の代わりに弊社技術が活用されています。

2008年の認定後、ゴム製品や周辺部品を一括して納品する商社機能を備え、売り上げを伸ばし、約10年で年商は約5倍になりました。ゴム製品をキーパーツとして電力会社向けの装置などを一括納品するのが当社のビジネスモデルとなっています。また、電力やインフラ事業は参入するのが難しく、技術力はもちろん、高い品質管理が求められます。そのため、ISO　9001に航空宇宙分野の要求事項を追加した品質マネジメント規格JIS Q 9100を取得しました。このレベルの品質規格を持っている同業他社はあまりありませんが、あえて取得し、安心していただける品質をお客様に提供しています。「神戸発・優れた技術」認定は会社の成長を後押ししてくれました。私たちの技術は外部から優れていると認められたと、社員一同が自信を持って働くことができています。さらに、当社を知ってもらうきっかけや、顧客獲得への販促ツールにもなっています。この先は電力業界においてゴムの加工メーカーから電力装置メーカーへとさらなる飛躍を目指します。

代表取締役 兼 CEO **高山 正史**